

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「コロザル町ごみ収集車整備計画」  
贈与契約署名式**

2020年1月28日、ベルモパン市において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「コロザル町ごみ収集車整備計画」の贈与契約署名式が実施されました。

窪田大使は、美しい環境を次世代に残し、より良い未来を構築することは、日本とベリーズの両国にとっての義務であり、全国レベルの固形廃棄物管理の改革に取り組んでいるベリーズを、日本は草の根、JICA ボランティア、及び JICA 訪日研修プログラムを組み合わせることで地方自治体レベルで支援することにより、この重要課題に共に取り組めることを嬉しく思うと述べました。

コロザル町は、既存の3台の中古ごみ収集車で町全体のごみ収集に対応していましたが、車両の老朽化のため頻繁に故障し、数週間もごみ収集が行われないう状況が頻発するなど、同町のごみ行政は大きな問題に直面しています。

本計画によって、199,020米ドルが供与され、圧縮機付ごみ収集車とオープン・バック型ごみ収集車の計2台が同町に導入されます。これにより、同町のごみ収集能力が改善され、約9,800人の住民に、より衛生的な生活環境を提供できるようになることが期待されています。

本署名式には、リゴベルト・ベロス町長、ロドルフォ・ナルバエス同町参事官他同町関係者、JICA 関係者、報道関係者、が出席しました。

被供与団体を代表して、ベロス町長は、日本政府及び日本国民からの支援に対する深い感謝の意を表し、この支援は、コロザルを最も美しい町として維持する上で大きな貢献となり、購入する機材は大切に維持し、末永く活用すると述べるとともに、町に配属され、環境美化の啓蒙活動に取り組む JICA 協力隊員の活躍にも感謝していると述べました。



窪田大使によるスピーチ



贈与契約書への署名



窪田大使とベロス町長



左から、ロドルフォ・ナルバエス参事官、クラウディット・グリニッジ事務長、本使、ベロス町長